

2019  
2月 須坂高校 たより

# 臥龍魂 熱意・がり



## ☆ニコラ君，帰国(2/1) ☆

4月から、本校で共に学んできたフランスからの留学生、ニコラ・ディディエ君が、留学期間を終えて帰国することになりました。そこで2月1日の昼休みに、校内放送をつうじて「お別れの挨拶」をしてくれました。高校生のうちから親元を離れ、たった一人、言葉も文化も違う異国での体験を選択したニコラの勇気と行動力を、間近で見せてもらいました。



当初は全くしゃべれなかった日本語に必死に取り組み、古典の授業にも参加できるようになったニコラ。陸上、バドミントンと興味ある部活動に積極的に取り組み、友人関係も広げました。その姿は、本校の生徒たちにも大きな刺激になったと思います。ニコラ，ありがとう。帰国後もがんばれ！

## ☆龍制作は始まっている(2/6) ☆

本日、放課後、市内のマツナガ建設株式会社に勤務する浅岡亮さん(本校同窓生)をお迎えし、りんどう祭には欠かせない「龍制作」についてアドバイスをいただきました。集まったのは、来年度龍制作にかかわる1、2年生二十数名！

熱心に専門家である先輩の話に聞き入っていました。このような、事前の綿密な準備があつてこそ、りんどう祭で、あの素晴らしい龍が建立されます。来年度の龍はどんな姿になるのでしょうか。今から制作準備は始まっています。



## ☆情報発表会(2/12) ☆



せまいPC教室に熱気がこもります。発表者は声の大きさや表情に気持ちを込め、チームメイトが資料提示で支えます。

1年生の情報の授業では、各自が作成した研究論文をもとに、チームでプレゼンテーションを作成して、発

表しました。各クラス7チームが出来栄を競い、生徒同士で評価しました。ここで選ばれた各クラスのベストプレゼンテーションは3月19日にメセナホールで行われる「1・2学年合同情報発表会」で発表されます。日程の詳細は後日掲載しますので、当日はぜひ足を運んでいただき、生徒たちの発表をご覧ください。

## ☆ダンス発表会 (2/12) ☆

いよいよ今年度も終わりが見えてきました。実習を中心とした科目では、1年間の学習のまとめが行われています。

2月11日には、2年生女子の体育の授業でダンスの発表会がありました。講座内で3～5チームに分かれ、自分たちで選んだ曲を組み合わせて、各チーム5～10分で発表を行いました。発表は録画し、次の授業で動画を見ながら、互いに審査表を書いて評価し合います。



《準備・リハーサルは入念に》 《小道具を用意するなど工夫して》 《決めポーズもバッチリです》

## ☆本場ウィーンでバイオリン演奏・室内楽部3人 ☆ (2/23・24 東京合宿)

全日本高校選抜オーケストラ74人の一員として、須坂高校室内楽部の柳沢真央君、柳沢颯佑君、井上綾介君の3人が、3月にオーストリア・ウィーンで公演します。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の拠点の音楽堂「ウィーン学友協会」で演奏するほか、現地の音楽家と交流したり、音楽文化や歴史ある史跡、街並みなどに触れます。全日本高校オーケストラ連盟が主催する通称「ウィーン隊」と呼ばれる公演で、全国から公募した高校生を中心にオーケストラを結成し、現地での演奏や交流を通して音楽性の向上や国際性の育成などを目的に、毎年春休み期間に実施しています。真央君は昨年が続いて2回目の参加です。3人ともバイオリン奏者で、真央君は「昨年より自分の技術も上がっているので、今年は満足のいく演奏ができればいい」、颯佑君は「全国から同年代の人たちが集まって1つの曲を作ったり、楽友協会でも演奏することはなかなかできない経験。ウィーン・フィルの人とも共演できるので技術などを学んできたい」、井上君は「日本では学べない音楽やバイオリンの奏法など、現地でしか学べないことを自分で探しながら習得してきたい」とそれぞれ音楽の都への訪問を心待ちにしています。3月23、24日に山梨県で国内合宿を経て、3月25日に日本を出発し、31日に帰国します。



《須坂新聞2月16日の新聞記事で紹介されました》

## ☆松本で「長野県高校生会議」(2/17) ☆

長野県内の高校生が、松本市議会の議場や議員協議会室で「長野県高校生会議」を開きました。参加した高校生30名のうち11名が須坂高校生で、「須坂高校生ここにあり」と、自らの考えを発表してきました。夏休みのあり方、有意義な過ごし方について、6班に分かれて議論した結果を、議場の演壇で発表しました。その様子はNBSのニュースにも報道されました。